

J A徳島県 神山すだち振興部会

住所及び氏名

住所 徳島県 神山町

氏名 J A徳島県神山すだち振興部会

I. 推薦理由

1. 推薦趣旨

徳島県東部に位置する神山町は県下一のすだちの産地であり、古くからすだちの栽培がおこなわれている。中山間地ならではの豊富な水と昼夜温較差が大きい気象条件下で栽培されている神山すだちは、鮮やかな色合いや香りの高さ、キレの良い酸味から、市場でも高い評価を受けている。

もともと各家庭で自家消費用に栽培されていたすだちであるが、昭和 31 年から組織的に商品化作目として栽培され始め、昭和 35 年以降は神山町鬼籠野地区を中心に本格的に全町内へ植栽された。昭和 36 年に徳島県より産地指定されて以来、周年出荷に向けた栽培改善が始まり昭和 42 年には貯蔵技術が実用化し、以来これらの技術改善を積極的に行い今日に至る。

現在は関係機関との連携を図りつつ、更なる貯蔵技術の発展、スマート農業導入に向けた検討、また各生産部会への栽培講習会や若手生産者の育成等、今後も高品質な青果の生産が維持されるよう、産地のさらなる活性化に向けて活動を行っている。

2. 集団組織を取り巻く環境

(1) 立地条件

神山町は徳島県東部の名西郡に属し、昭和 30 年に 5 村が合併し誕生した。町の中央を東西に横断する清流、鮎喰川上中流域に農地と集落が点在し、その周囲を町域の約 86%を占める 300～1,500 メートル級の山々が囲んでいる。年間降水量は 2,100 ミリメートル前後で寒暖差が大きい地域である。そのなかで徳島県を代表する特産物であるすだちの日本一の産地として知られ、山フキをはじめとした山菜類・梅・花卉の県内有数の産地となっている。

神山町には樹齢二百年と推定されるすだちの県下一の古木があります。



（２）地域の果樹農業事情

神山町で栽培される果樹はすだちを中心とし、梅・ゆずの栽培が盛んであり、特にすだちの栽培面積は約 81ha と全国有数の産地である。

神山町ですだちは古くから自家消費用として家の庭先に植えられ、阿波踊りの頃には青い果皮をすりおろし、実が大きくなった 9 月頃には果汁を絞リかけ、秋祭りには魚の姿寿司に利用するなど町民の食生活に欠かせないものであった。

昭和 30 年に合併により誕生した神山町は、農家の生活向上へ果樹の増産計画を打ち出し、町内各地区で競い合いながら栽培に取り組んだ。旧鬼籠野村の有志が集まり栽培果樹の議論を行っていく中で、日照時間・気温・降水量を鑑みて栽培環境の適応したすだちの栽培への取り組みを始め、昭和 36 年には徳島県より産地指定されるに至った。

標高が高く、雨が多く、冷涼で昼夜の寒暖差が大きい気象条件はすだちの栽培に適しており、鮮やかな色合いや香りの高さ、キレの良い酸味から、市場でも高い評価を受けている。

3. 対象集団組織の概況

（１）集団組織の履歴

平成元年 4 月、もともと旧村での単独農協ごとに運営していたすだち部会が、徳島神山農業協同組合への合併を機に神山町での統一部会として発足した。

現在は 5 つの支部（阿野支部・鬼籠野支部・神領支部・下支部・上支部）と、徳島県農業協同組合で構成されている。

（２）集団組織活動の状況

支部長を 5 名、各地区から選任しそのうち 1 名を互選により部会長とし組織を構成している。事務局は徳島県農業協同組合神山営農経済センターが担っている。

（３）経営的特色

平成 9 年に選果場の建設とともに新しく選果機を導入し省力化を進め、平成 23 年に選果機を更新しさらに効率化を進めた。平成 12 年には新しい搾汁機を備えた搾汁施設を選果場横に併設し、加工品の果汁 100% のすだち酢の搾汁能力の向上を図った。また、平成 30 年には従来の 1 キロ箱出荷に加え、消費者や量販店の要望に応えるため、3 個 4 個詰めに対応する小袋包装機を導入し販路拡大を進めている。

（４）技術的特色

○省力化に向けたスマート農業機械の導入

栽培圃場の多くが傾斜畑や段々畑にあり、圃場管理作業には多大な労力を要することから、令和 2 年度からドローン等の無人防除機を用いた省力化試験に取り組んでいる。また同年度にロボット草刈り機が導入された圃場では除草作業が皆無となり、省力化に大きく貢献している。

○気候変動に対応した技術導入

すだちは 7 月下旬の梅雨明け以降に果実肥大が盛んになり、8 月から収穫期を迎える。しかしながら、近年は気温上昇に伴う猛暑や少雨により、肥大不良や早期着色などの影響を受ける年が多くなっている。

圃場の樹幹下にドリップ灌水用チューブを設置し、樹体への少量給水により肥効を高めることで、濃緑色の大玉果実や貯蔵性の高い果実生産に繋がり、灌水作業の省力化が図られている。

○新たな貯蔵方法の開発

神山町はすだち栽培の中でも特に貯蔵出荷に精力的に取り組んでおり、貯蔵技術向上のための研究を盛んに行っている。

硝酸カルシウムを土壌施用することで、貯蔵中における黄変や腐敗などの障害発生が少なくなり、健全果の割合が高まる手法を確立でき広く技術普及できている。

また、発泡スチロール製大箱にポリ袋の数倍量を入れ、予措することなく低温貯蔵することで、簡便かつ省力的に濃緑色の果実を短期貯蔵できるよう試験を行っている。

（５） 集団組織活動による参加農家の経営効果

振興部会としても販路拡大に努めながら、町内に拠点を置くＮＰＯ法人との連携によって加工品の販売取扱量が増加し、生産意欲の向上に繋がっている。

（６） 地域への波及効果

○栽培技術の高位平準化に向けた取組

当部会では生産者の圃場を個別巡回し水挿しによる着花予想、着花量、着果量について定期的に調査を実施している。また生産者を対象とした高品質果実生産のための摘果摘葉講習会や冬季剪定講習会を開催し、各種情報の提供と併せて技術レベルの向上を図っている。

○新たな担い手確保に向けた取組

神山町では親元就農を含めたすだち栽培を志す希望者を対象に、地域内の中核的生産者とＪＡ・行政が協力し、研修生の受入態勢を整備している。これらの取組により、安定的に新規就農者がみられ、栽培技術の伝承に加え、優良園地の保全と産地維持に大きく寄与している。

（７） 今後の経営展開

人口減少や担い手の高齢化により、当地区を含め県内の栽培面積は年々減少傾向にある。徳島県かんきつアカデミーをはじめとする、就農希望者が技術習得可能な場所を提供することで新たな担い手育成を図り、日本一のすだち産地として産地の維持と魅力発信を継続し続ける。

また、徳島県育成の晩成新品種「勝浦１号」を広く導入し、優れた貯蔵性を生かし、生産者の所得向上・栽培意欲の増進を期待している。

Ⅱ．経営状況

１． 集団組織の現状

（１） 集団組織の参加戸数及び経営規模

全戸数	総戸数	0.5ha 以下	0.5～ 1ha	1～2ha	2～3ha	3ha 以上	1 戸平均		
								経営 面積	うち果樹作
専業	戸	戸	戸	戸	戸	戸	専業	ha	ha
第１種兼業							第１種兼業		
第２種兼業							第２種兼業		
計	490	482	8						0.16

(2) 集団組織タイプ
集出荷場共同利用

(3) 集団組織の労働力構成

性別	男（人）					女（人）					合 計	主たる 分担作業
年齢別	29 才 まで	30～ 49	50～ 64	65～	小計	29 才 まで	30～ 49	50～ 64	65～	小計		
構成員												
構成員の家 族												
計												

(4) 集団組織の雇用労働の状況

常雇	性別	人数	年間雇用日数	主たる分担作業
		人	日	
臨時雇用	延べ雇用日数		160 日（5 人×32 日）	共選場での選果作業

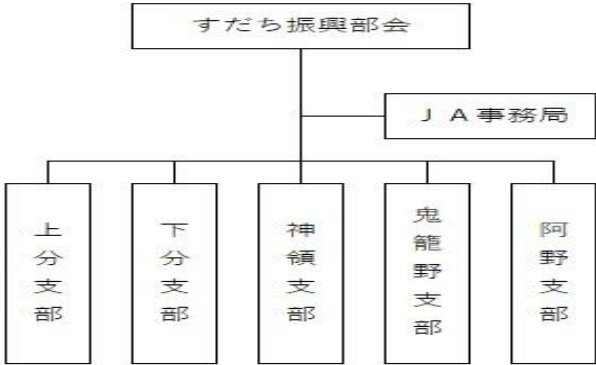
2．(1) 耕地の概況

総耕地面積	509 ha
水田	41 ha
普通畑	232 ha
果樹園	236 ha

(2) 左表の果樹園のうち集団活動の
対象となる果樹園面積

品目	栽培面積（うち成園）
① すだち	81.0ha（ ha）
② うめ	49.5ha（ ha）
③ ゆず	9.0ha（ ha）
	ha（ ha）
計	139.5ha
	（ ha）

3．集団組織の組織図



4. 果樹作関係主要機械・施設の整備概況

(1) 主要機械

種類	台数	仕様	導入年	備考
選果機	1 台		平成 23 年	
搾汁機	1 台		平成 12 年	
小袋包装機	1 台		平成 30 年	

(2) 主要施設

種類	構造	規模（面積・延長等）	建築年	備考
選果場	鉄骨平屋一部 2 階	1, 046 m ²	平成 9 年	
搾汁施設	鉄骨 2 階建	656 m ²	平成 12 年	

5. 果樹生産・出荷の概況

(1) 生産の概況

品目・品種	収穫面積			収穫量				
	前々年産	前年産	当年産	前々年産	前年産	当年産	3 か年平均	
	(R3 年)	(R4 年)	(R5 年)	(R3 年)	(R4 年)	(R5 年)	収穫量	10a 当たり
	ha	ha	ha	t	t	t	t	kg
すだち	81	81	81	1, 025	403	868	765	944

(2) 選果及び出荷の概況

品目・品種	共同選果量			出荷額			
	前々年産	前年産	当年産	前々年産	前年産	当年産	3 か年
	(R3 年)	(R4 年)	(R5 年)	(R3 年)	(R4 年)	(R5 年)	平均
すだち	kg	kg	kg	千円	千円	千円	千円
露地	197, 325	84, 743	142, 745	80, 812	66, 314	94, 690	80, 605
貯蔵	215. 908	104, 426	186, 267	174, 667	311, 613	181, 491	222, 590
すだち	kg	kg	kg	千円	千円	千円	千円
(加工)	600, 318	204, 448	526, 974	60, 031	20, 444	63, 236	47, 903
全体	kg	kg	kg	千円	千円	千円	千円
	1, 013, 551	393, 617	855, 986	315, 510	398, 371	339, 417	351, 098

(当年出荷の特徴)

令和 5 年度産の総生産量は前年比 214%、青果出荷は前年比 171%と非常に多い出荷量となった。

前年比で見ると令和 4 年産が県下一円ですだちの栽培史上まれにみる不作であったため、このような結果となっているが、過去 1 0 年で見てみるとおおよそ平年並みの取扱量となっている。

しかしながら平均気温の上昇による果熟の前進、降雨の少なさによる日焼け等、例年に比べ状態の悪い果実であった。

出荷面においては、コロナウイルス収束に伴うインバウンド需要により荷動きが良く、良好な販売となっている。

6. 当年の販売方法別割合

品目・品種	販売方法別の割合						
	農協	集団組織で 市場出荷	集荷業者	スーパー等 へ直接出荷	直販 (宅配含)	観光園	その他
すだち	% 100	%	%	%	%	%	%

7. 園地の状況

(1) これまでの対象集団組織の果樹経営支援対策事業による園地整備、品目・品種更新等の状況

年次	対象品目・品種	面積 (㎡)	整備等の内容	備考
H21_3 次	すだち・神山 4 号	2,921	改植 4 園地	
H22_3 次	すだち・神山 4 号	5,180	改植 8 園地	
H23_2 次	すだち・神山 4 号	9,722	改植 15 園地	
H24_1 次	すだち・神山 4 号	2,050	改植 4 園地	
	すだち・にしまた系	1,100	改植 2 園地	
H24_2 次	すだち・神山 4 号	2,672	改植 5 園地	
H26_1 次	すだち・神山 4 号	3,941	改植 8 園地	
H27_3 次	すだち・神山 4 号	4,790	改植 9 園地	
H29_2 次	すだち・神山 4 号	4,081	改植 5 園地	
	すだち	1,067	園内道の整備 1 園地	
H31_1 次	すだち・神山 4 号	1,772	改植 4 園地	
R2_1 次	すだち・神山 4 号	2,078	改植 5 園地	
R2_2 次	すだち・神山 4 号	2,498	改植 3 園地	
R3_1 次	すだち・神山 4 号	919	改植 2 園地	
	すだち・神山 4 号	829	新植 1 園地	
R3_2 次	すだち・神山 4 号	375	改植 1 園地	
	すだち・神山 4 号	6,901	新植 9 園地	
R4_1 次	すだち・神山 4 号	2,319	改植 3 園地	
	すだち・神山 4 号	1,746	新植 3 園地	
	すだち・にしまた系	1,503	新植 1 園地	
R5_1 次	すだち・神山 4 号	1,432	改植 2 園地	
	すだち・神山 4 号	1,876	新植 3 園地	
	すだち・にしまた系	1,506	新植 2 園地	

(2) 現在の集団組織の園地状況 (必要に応じて記入)

--

8. 選果及び出荷の状況

(1) これまでの対象組織の選果及び出荷についての整備状況

年次	対象品目	能力	整備の内容	備考

(2) 選果及び出荷の改善状況

--

9. 集団組織活動の効果

項目	集団組織に参加している農家		集団組織に参加していない農家 又は地域の平均（加工出荷対象農家）	
収量	1,600 kg/10 a		1,600 kg/10 a	
労働時間	露地：353 時間 貯蔵：429 時間 神山町は中山間地に位置しており畑の大部分が、一枚の面積の小さい棚田が占めている。そのため、一つの作物では経営が困難であるので昔から二品目以上の作物を栽培する複合経営が中心となっている。 集団組織に属することによりすだちの出荷作業の時間が短縮され、他品目の栽培に時間をさくことができ、結果として全体の所得向上につながっている。		露地：413 時間 貯蔵：639 時間	
品質	共同選果により、個人間の品質格差がなく、出荷期間通じた品質の安定が図られている。		生産者間で品質格差が生じる。	
生産コスト	露地	貯蔵	露地	貯蔵
	644 千円/10a	707 千円/10a		
平均的経営収入 粗収益 経営費 所得	露地	貯蔵	露地	貯蔵
	747 千円/10a	1,377 千円/10a		
	644 千円/10a	707 千円/10a		
	103 千円/10a	670 千円/10a		

10. 経営の優秀性等

(1) 集団組織としての栽培技術上のポイント

○ 着花調査 5月 ○ 着果調査 7月 ○ 摘果・摘葉講習会 7月 ○ 貯蔵状況調査 12月 ○ 花芽水差し調査 1月 ○ 剪定講習会 2月
--

(2) 集団組織としての経営管理上のポイント

○ 出荷協議会の実施（出荷規格・注意事項の共有） ○ 販売反省会の実施（今年度の振り返り、課題点の検討・共有）

1 1 写真

すだちの古木



ロボット草刈り機



灌水チューブによる点滴灌水



ドローンによる省力化実証試験



剪定講習会



自走式無人防除機



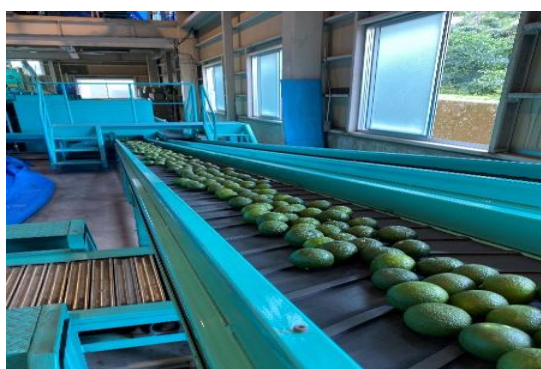
東京高円寺阿波踊りでの消費宣伝



選果場



搾汁施設



改植・新植園地



すだちG I 表示出荷箱

